

白井市障害者計画（2016～2025）中間見直し版 進行管理票 修正報告

白井市障害者計画（2016～2025）中間見直し版 進行管理票 修正報告

議題資料2-1

通番	基本目標	施策の方向	施策	事業等	内容	年度	実施事項	担当課等	実績の指標	目標値・見込値	修正前		修正後		理由
											実績値	自課評価	実績値	自課評価	
34	1 地域での自立生活への支援の推進	(4) 保健・医療サービスの充実	②保健サービスの充実	歯科口腔保健の推進	障がい者（児）の口腔機能を維持するため、歯科保健指導や歯科健康診査を実施します。	R6	歯科相談（来所・電話）の実施（随時）	健康課	相談件数	随時		○		△	評価の見直しによる修正
43	2 社会参加の支援・促進	(1) 障がい児の保育・教育の充実	②学校教育（特別支援教育）の推進	通級指導の充実	言語に障がいのある児童が、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら障がいの状態に応じて特別な指導を受けることができる通級指導教室の充実を図るとともに、他校に設置された通級指導教室に自家用車で通う児童の保護者にガソリン代の補助を行います。	R5	通級指導教室に自家用車で通う児童の保護者に対するガソリン代の補助（特別支援教育就学奨励費補助金）	学校政策課	対象人数	9人	17人	◎	8人	○	対象外の人数も含めていたため
						R6				9人	24人	◎	7人	○	
48	2 社会参加の支援・促進	(1) 障がい児の保育・教育の充実	④放課後対策の充実	放課後児童クラブ（学童保育）への受け入れ体制の整備	指導員を加配して障がいのある児童を学童保育所で受け入れ、健全育成を図ります。	R6	学童保育所に入所した障がい児の保育の実施	保育課	利用者数	6人	66人		46人		対象とならない児童も計上していたため
71	3 快適で人にやさしいまちづくりの推進	(1) 福祉活動の促進	②ボランティア活動の促進	地域ぐるみ福祉ネットワーク事業の促進	地区社会福祉協議会（市内7地区）による「いきいきサロン」など、地域の特性を活かした地域ぐるみ福祉ネットワークの促進を図ります。	R3	障がい者・高齢者等に関わるいきいきサロン等の実施。	社会福祉課	回数	前年値以上	71		53		積算方法の誤りによる修正
						R4					482		125		
						R5					2617	◎	123	○	
						R6					8517	◎	119	○	

基本目標	1 地域での自立生活への支援の推進			
施策の方向	(4) 保健・医療サービスの充実			
内容	身体障がい等の発生予防や身体、知的、精神3障がい等の早期発見・早期対応に努めるとともに、障がいの特性をふまえ個別のニーズに対応できるよう、知的障がい者等の療育体制の整備に努めます。また、保健サービスの充実や、その結果に応じた医療につなげる支援の実施を図ります。			

施策	通番	重点取組	事業等	左記の内容	自己評価平均点(満点:3点)※				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
②保健サービスの充実	34	-	歯科口腔保健の推進	障がい者(児)の口腔機能を維持するため、歯科保健指導や歯科健康診査を実施します。				1.50 1.00	
平均点								1.83 1.78	

基本目標	2 社会参加の支援・促進			
内容	地域社会の一員として、生きがいを持って暮らしていけるよう、さまざまな社会活動・地域活動への参加を支援・促進していきます。			
施策の方向	(1) 障がい児の保育・教育の充実			
内容	障がいのある子どもたちが、地域の中で社会に参加しながら自分らしく自立して暮らしていくことができるよう、障がいの特性や状況に応じた保育・教育体制の整備・充実に努めます。			

施策	通番	重点取組	事業等	左記の内容	自己評価平均点(満点:3点)※				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
②学校教育(特別支援教育)の推進	43	-	通級指導の充実	言語に軽度の障がいのある児童が、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら障がいの状態に応じて特別な指導を受けることができる通級指導教室の充実を図るとともに、他校に設置された通級指導教室に自家用車で通う児童の保護者にガソリン代の補助を行います。			3 2.5	3 2.5	
平均点							2.45 2.41	2.45 2.41	

基本目標	3 快適で人にやさしいまちづくりの推進			
内容	誰もが快適な暮らしを送れるよう、すべての人にやさしい福祉のまちづくりを進めます。			
施策の方向	(1) 福祉活動の促進			
内容	障がいや障がいのある人についての正しい知識を広め、障がいのある人への理解をさらに深めていくため、広報・啓発活動に努めます。また、福祉意識の普及や福祉活動への参加を促進し、支えあいの社会づくりを進めます。			

施策	通番	重点取組	事業等	左記の内容	自己評価平均点(満点:3点)※				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
②ボランティア活動の促進	71	-	地域ぐるみ福祉ネットワーク事業の促進	地区社会福祉協議会(市内7地区)による「いきいきサロン」など、地域の特性を活かした地域ぐるみ福祉ネットワークの促進を図ります。			3.00 2.00	3.00 2.00	
平均点							2.37 2.24	2.35 2.23	

・令和5年度

基本目標	施策の方向	施策	自己評価平均点					令和5年度の主な実施事項
			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
2 社会参加の支援・促進	(1)障がい児の保育・教育の充実	①早期療育・保育の充実 ②学校教育(特別支援教育)の推進 ③インクルーシブ教育システムの推進 ④放課後対策の充実			2.45 2.41			①児童発達支援センターでは、令和5年度より保育所等訪問支援の対象を白井市子ども発達センター利用児以外にも拡大して実施した。 ②令和5年4月から市内市立保育所1園において、同一敷地内で児童発達支援事業所が開設され、保育と療育の一体的実施に取り組んでいる。 ③市内各校で障がいの理解、福祉教育を指導したほか、各学校が計画を立て交流教育を行った。 ④学童保育、放課後等デイサービスの利用は、ともに前年度に比べ増加した。 (学童保育25人→35人 放課後デイ1,818人→2,101人) また、市内に新たに放課後等デイサービス多機能型事業所が1箇所開所した。
3 快適で人にやさしいまちづくりの推進	(1)福祉活動の促進	①啓発活動の充実 ②ボランティア活動の促進			2.37 2.24			①広報しろい12月1日号に障がいのある方の家族支援等、障がいの理解のための啓発記事を掲載した。また、市民向けの講座を実施した。 ②:ボランティア活動の促進については、講座の参加者数・ボランティアのマッチング数が前年度の約1.7倍に増加(1,331人→2,208人)した。また、手話講座、音訳ボランティア養成講座、傾聴講座、精神保健活動ボランティア養成講座等は、受講者のニーズに沿った内容とし、開催数は前年度の約2.1倍の25回となった。
	(平均)				2.01 1.99			

・令和6年度

基本目標	施策の方向	施策	自己評価平均点					令和6年度の主な実施事項
			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
1 地域での自立生活への支援の推進	(4)保健・医療サービスの充実	①早期発見・療育の体制の充実 ②保健サービスの充実 ③医療につなげる支援の充実				1.83 1.78		①療育に関する情報をまとめ、保護者や支援者間で共有するためのライフサポートファイルを障害福祉課の窓口と各学校で配布した。 ②各種がん健診では、受診者の集中を避け、受診しやすい体制のため予約制を継続して実施し、集団健診会場では移動介助を行った。 ③医療機関に関する情報提供では、広報・ホームページで周知するとともに、健康カレンダーの全戸配布を実施した。今後は、市公式LINEの各種マップへ掲載し、Googleマップと連携していく。
2 社会参加の支援・促進	(1)障がい児の保育・教育の充実	①早期療育・保育の充実 ②学校教育(特別支援教育)の推進 ③インクルーシブ教育システムの推進 ④放課後対策の充実				2.45 2.41		①白井市子ども発達センターは、令和4年度から児童発達支援センターとして地域支援の拡充を行っている。 ②子どもの特性や適性などにあった教育が受けられるよう実施する就学相談の件数は増加した。(R5:65人→R6:84人) ③各学校で、障がい者理解、福祉教育を指導を行った。 ④学童保育所と学校、白井市子ども発達センター等の関係機関と連携を強化。
3 快適で人にやさしいまちづくりの推進	(1)福祉活動の促進	①啓発活動の充実 ②ボランティア活動の促進				2.35 2.23		①障がい理解に関する研修の実施では、新人研修のほか、部課長対象研修を実施した。 ②:ボランティア活動の促進については、講座の参加者数・ボランティアのマッチング数が前年度より増加した。(R5:2,208人→2,345人)
	(平均)					2.07 2.05		